

臨床研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

2021年4月1日から2022年3月31日までの期間に、
入院した患者さんは以下をご覧ください。
年齢：0～100歳まで

【研究課題名】 急性期病院におけるせん妄に関する実態調査-せん妄発症について-

【研究期間】 2022年2月1日～2022年8月31日

【研究責任者】 福井赤十字病院 所属 看護部外来 氏名 山本 隆

【研究目的と意義】

体の病気で入院すると、せん妄を引き起こすことがあります。せん妄とは、患者自身の脱水、感染症、貧血、薬物、生活環境の変化などの様々な原因で脳の働きが鈍り、「寝ぼけ」のような状態になることです。半分現実、半分夢の中にいるような寝ぼけた状態が起きます。自分がどこにいるのか、現状のことがわからなくなり、場合によっては、幻覚や妄想、興奮といった言動を表すことも少なくありません。そのような言動が起きると入院生活が長引き、患者自身や家族に負担をかかってしまいますし、患者の生活の質の低下につながっていきます。このため、このせん妄を予防、早期発見、対策を行うことが求められています。また、せん妄への対応として行われる身体抑制や鎮静作用のある薬剤使用が、かえってせん妄を助長するという悪循環が形成されることもあります。

当院において、令和2年7月より、せん妄が早期に察知できるようにせん妄スクリーニングツール（Delirium Screening Tool：DST）による評価を開始し、全ての入院患者を対象にDSTを実施しています。このDSTとは、看護師が患者を観察した際に、意識面・認知面・精神面を看て状態を把握するものになります。そこで、DSTによるせん妄評価の結果から、当院におけるせん妄発症の実態（発生率、発症時期、持続期間）を明らかにする研究を行い、せん妄予防の取り組みに役立てることを目的とします。

【研究の方法】

福井赤十字病院で 2021年4月1日から2022年3月31日までの期間に、入院したすべて患者さんを対象とします。

研究の方法として、過去の診療記録（電子カルテ情報）から、看護師が電子カルテに入力されたDSTの入力データを活用します。新たに患者さんに検査や経済的負担をいただくことはございません。また研究実施計画書及び研究の方法に関する資料をご希望があれば閲覧することもできますので、お申し出ください。この研究は福井赤十字病院倫理委員会審査、病院長の許可を受けて実施するものです。

【個人情報の保護】

収集したデータは匿名化した上で保管します。この研究の全ての過程は、国が定めた倫理指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」「個人情報保護に関する法律」を遵守し、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、個人が特定されないように致します。対応表は本研究の研究責任者が個人情報を厳重に保護します。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究は患者さんの過去のデータを利用するだけです。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」によると特に文書で同意をいただく手続きが必要ないとされております。しかしご自身の情報を使用されたくない患者さんもおられるかと思えます。その場合は研究に含めませんのでお知らせ下さい。研究への協力を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の担当者までお知らせください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータを分からない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

【問い合わせ先（研究担当者）】

氏名：山本 隆

（福井赤十字病院 看護部外来 ）

住所：〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

電話：0776-36-3630

FAX：0776-36-4133